

なぜ「東京地方壮年連合」と言うネーミング？

全国壮年会会長 大井バプテスト教会会員 山田 誠一

先日(5月)の東京地方壮年連合の役員会に久しぶりに陪席したおりに、坂口会長よりなんで「東京地方壮年連合」と言う様になったのだろうと言う問いかけがありました。出席の役員の方々からはその説明がありませんでした。みなさん知らないと言う事でしたので私からその経緯を説明致しました。すると、皆さんからは「そうだったのですね！」と言う反響があり、ぜひその事を連合通信にのせて欲しいと言う事で今回の執筆となりました。



2011年4月29日第二回総会で「日本バプテスト連盟 東京地方壮年連合 規約」が制定され、その後一部が改定されましたが現在もこの規約に則って会が運営されています。

「東京地方壮年連合」の何がこだわりなのでしょう？通常は「・・・連合壮年会」と言う呼び名が一般的です。つまり、地方連合の壮年会という組織ということになります。ではなぜ東京はそういう名前ではないのか？

私がこの集まり(東京地方壮年連合の前身)に参加するようになったきっかけは、規約ができる3年前ぐらいからでした。当時の私は大井教会からほとんど外に出た事はありませんでした。滝川佳秀さんという先輩に「来週土曜日に大久保教会に來い」と言われて伺ったのがきっかけでした。そこは、東京地方壮年連合の設立に向けて熱い議論の場でした。そこに集っていたそうそうたるメンバーの議論に全くついていけずただ聞いているだけでした。何回か参加しているうちに私もすっかり議論の一員となりました。規約がまとまりそうになっていた頃だと思います。この会のネーミングは「東京地方連合壮年会」でいいのか？という事についてかなりの意見交換が行われた事が今でも心に残っています。その中心課題は、壮年会という信徒会活動のない教会もある。壮年が数人の規模の教会・伝道所もある。そういう状況の中で全ての壮年がメンバーとなれるために「東京地方壮年連合」にすべきだ。また、東京地方連合の属職ではなく、一つの独立した組織として成り立っていく願いがあったようです。といっても東京地方連合との協力体制は変わりません。

これからの東京壮年連合の働き人として役員会に加わってくださる壮年を求めています。ただ一人の教会での壮年でもいいのです。あなたがこの輪に入ってくださいる事を願います。

2020 年度活動報告及び 2021 年度活動計画

【2020 年度活動報告】

主題と主題聖句

主題：「壮年の役割ーバプテストの信徒として」

主題聖句：コロサイの信徒への手紙 3 章 16 節「キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩篇と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。」

活 動

・役員会：何れも奇数月第 2 土曜日 10:00～12:00（5 月 9 日/7 月 11 日：大久保教会、9 月 8 日/11 月 7 日/2021 年 1 月 9 日/3 月 13 日:オンライン会議）

・東京地方壮年連合通信の発行：Vol.86（2020 年 9 月 12 日）Vol.87（2020 年 11 月 7 日）Vol.88（2021 年 3 月 13 日）

・東京地方壮年連合総会：2020 年 12 月 5 日（土）にオンライン会議形式で開催 ・研修会：「今、よみがえる創世記の世界ー進化論と聖書の対話」講師：小山 清孝氏（目白が丘教会員）3 月 20 日（土曜日・春分の日）のオンライン会議形式で実施。

会計口座開設及び決算報告

本年度より会計の公明性を期す為、「日本バプテスト連盟東京地方壮年連合」名の新口座を開設した。2020 年度決算は、収入 170,000 円、支出 170,000 円うち繰越 3,202 円となり、鈴木監査役により決算報告がなされた。

【2021 年度活動計画】

2021 年度も新型コロナウイルスの蔓延により、東京地方壮年連合の諸行事が大きく修正や中止を余儀なくされるが、対面行事が可能になるまでオンラインによる役員会、総会、研修などに実施予定とする。しかし、日時は大きな変更が予想されるなど、2021 年度も新型コロナウイルスの状況が予測できないため、本計画の実施時期及び実施方法もあくまで予測の域を脱しない。

主題と主題聖句

主題及び主題聖句ともに、1～2 年では達成し得ないテーマのため、前年度を継続する。

2021 年度役員

会 長：坂口昌彦(目白が丘)

事務局長：高良研一（恵泉）

書 記：栗本岳尚(市川大野)

会 計：会長が兼任、募集中

監 査：松田俊介(目白が丘)

ブロック委員：藤田博(中野)、志築正治（市川大野）

（東・西・南・北の 4 名を要するため募集中）

神学生奨学金献金推進委員：募集中

活動計画内容

2020 年度に引き続き、教会形成に資する神学生に対する物心両面にわたる支援の働きを信徒として如何に成すかを基に、さらに掘り下げて壮年達が神学生奨学金を整える実務的な奉仕活動の策定とプロジェクトの策定。研修会開催等、学びの中から新たなプロジェクトや神学校サポート奉仕の策定を行う。

活動予定

- ・役員会：2021年5月8日、7月10日、9月11日、11月13日、2022年1月8日、3月12日に大久保教会など都内教会又はオンラインにて実施予定。
- ・全国壮年会連合定期総会：2021年8月20日（金曜）文書にて。
- ・全国壮年大会：2021年8月21日（土曜日）オンラインにて開催。
- ・東京地方壮年連合総会：2021年11月23日 東京地方連合の集いに合わせて開催を予定
- ・研修会：2022年2月12日または19日（土曜日）に実施予定。講師及び講演内容未定。

会計予算

基本的には、例年と大きな変わりはないと思われるが、新役員によって討議計画立案される。

以上

東京地方壮年連合の役員募集

近年の東京地方壮年連合は、正規には11名の役員を要するところ、2020年度は6名の役員でスタートするも途中で3名の役員が退任され慢性的な役員奉仕者不足状態にあります。就きましては、来年度2021年も引き続き役員の新規募集をさせて頂いております。

規定人数の役員を擁し役員の大任を避け、多くの教会からの一人でも多くの参加により多くの教会の希望を反映した公平で開かれた東京地方壮年連合の運営が望まれます。

望ましい形での東京地方壮年連合運営を可能にするため、多数の役員のご推薦並びに立候補を是非ともお願い致します次第であります。

隔月奇数月の2か月に1回 第2土曜日 10:00~12:00、新宿区内の教会をお借りして役員会を開催しています。交通費も支給されます。

現在、会計、広報、伝道、神学校献金推進委員、南ブロック委員、北ブロック委員、選挙管理委員等、7名の委員が欠員です。

詳細や疑問点は、下記役員にお気軽にお問合せください。

お問合せ先：坂口（080-6552-2555 E-mail: sakaguchi-m@ac.auone-net.jp）

発行人：東京地方壮年連合会長 坂口 昌彦

編集人：栗本 岳尚